



平成 26 年 1 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦
コード番号 1 7 1 2 (東証・名証 各第一部)
問合せ先 取締役企画管理本部長 村上 実
電話番号 052(611)6350 (代表)
当社の親会社 株式会社 ダイセキ
代表者名 代表取締役社長 伊藤 博之
コード番号 9 7 9 3 (東証・名証 各第一部)

通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 10 月 1 日に発表いたしました平成 26 年 2 月期(平成 25 年 3 月 1 日から平成 26 年 2 月 28 日まで)の通期連結業績予想及び平成 25 年 4 月 10 日に発表いたしました期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 平成 26 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 3 月 1 日~平成 26 年 2 月 28 日)

単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,800	1,009	1,000	548	91 54
今回修正予想(B)	10,300	1,224	1,200	657	109 75
増減額(B-A)	500	215	200	109	
増減率(%)	5.1%	21.3%	20.0%	19.8%	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 2 月期通期)	7,509	591	600	298	49 90

(注) 当社は、平成 25 年 9 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株を 100 株に分割し、1 単元の株式を 100 株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成 25 年 2 月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正理由

当第 3 四半期累計期間における状況は、新政権の経済対策「アベノミクス」への期待や、日銀による大胆な金融緩和により円高是正と株高が進み、景気回復への期待感から消費マインドも改善するなど、明るさが見えてまいりました。しかしながら一方では、新興国の景気減速や輸入原材料価格の高騰なども懸念されるなど、先行きは引き続き不透明感が残る状況で推移いたしました。

当社グループの当第 3 四半期累計期間における事業活動につきましては、首都圏を中心に不動産の動きが活発化してきたことにより、業績は概ね順調に推移いたしました。

また、仙台地区におけるがれきの減容化事業につきましては、案件が終了に近づき、多少は変動要因が残るものの、より確実な見通しを立てることが可能な状況になってきたことにより、通期の業績予想に反映させております。

その結果、通期における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、平成25年10月1日に公表しました業績予想を上回る見通しとなったため、業績予想を修正いたします。

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正について

(1) 期末配当予想の修正

	年 間 配 当 金				
	第一四半期末	第二四半期末	第三四半期末	期末	合計
前回予想 (平成25年4月10日発表)	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭 6.00	円 銭 6.00
今回修正予想				10.00	10.00
当期実績		0.00			
前期実績 (平成25年2月期)		0.00		600.00	600.00

(注) 当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用しています。なお、平成25年2月期の配当金については当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

(2) 修正理由

当社は、利益配分につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

当期純利益につきましては、上記のとおり平成25年10月1日発表の予想を上回る見通しであります。

上記基本方針に照らし、今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、期末の配当予想を6円から10円に修正させていただきます。

以 上